

⑥ キリストは、一口に言へば、生きて生きる
やう言葉である。

往はいさんな苦しみや不安や恐怖などと
食えなくて生きていけないと生きる
事が無い。もう生きる事が出来ない
ん生きる事が出来ぬ方にされて「死の
た」と「死の身」で死んでしまう
である。

大きな墓壇の上に人間はりつがって
いて、不安や苦しみや恐怖はある
とかく未だものである。その墓壇
は人間を生かさないでいるのである。
(生かさない)

大きなものにりつがって「死ぬ」と思ふが
この人間には棲む不安 etc. が生す
るである。

① キリストは人間が神によつておこに人間性
を因^{いん}復^{ふく}されたうえで神の告^ご知^しだつた。

(神によつては一應^{いのち}除^のす) 人間性とは
p.1 の註^{しゆ}釋^{せき}で述べられてゐる。

② イエスはマリアが聖靈^{せいりゆ}によつてみゆきつたと
される。……つまりイエスの誕生には理由^{ゆう}がないと
思^{おも}はれてゐる。

③ この人生における神^{かみ}は本当に^{まことに}と思^{おも}われ
ざものは、大抵^{だいび}理由もなく存在してゐる
決定的^{せていてき}なけどもつてゐる。

④ それものは、神^{かみ}には全く^{全く}ない^{ない}といつて
仕方^仕ない^{ない}に思^{おも}ひあるからだ。神^{かみ}は、(も)それ
自身^{じしん}をもつていか^か證明^{めいめい}できぬ^ぬからだ。……
ほんとは、(も)この理由^{ゆう}も必要^要く^ない^{ない}だけ
であるく、それがすんでこそ83%の理由^{ゆう}を抱^い
く^くてもううなづか^{づか}ない^{ない}。

生も同じである。

② 私は聖書を読みながらけんかに信仰の門を立て
いた。だから、その門のとびきりかたは、私は虚偽
を風じさせ子ほどだった。ところ事実、私は、何
處も勝手に(3と3の門)から立ち去った。だから私は、
3と気がつくと、必ず3つで2つには、門をくぐる最初が
ではかったり、と見ておりた。その時1年9
ヶ月(=1歳)頃狂な教と仰想(うしやう)していた。私
は門をくぐるのに、歩くのも一歩(けんか)にて
て、1つだけ歩くのが“あつた”。
……人は自分で子供(=3と3の門)を立てるが“あつた”。

③ 附録へおまかせ：自分で食いなつて3人間
を生むと生むためにキリストは死んできた。
附録とおなじ方でためにやつてきたのではなく
附録があると、それが人間の喜びとなり、幸
福となるためにやつてきたのである。

私は奇蹟など信じられることがないとも思って……。また
喜びをもつて私はキリストを立てるが“あつた”。